潟上市議会だより

みんなのギカイ

～かたがみのミライをつくる広報誌～

この春、東湖小学校と統合した天王小学校。登下校時には、こどもたちの元気な声が響いています。

CONTENTS

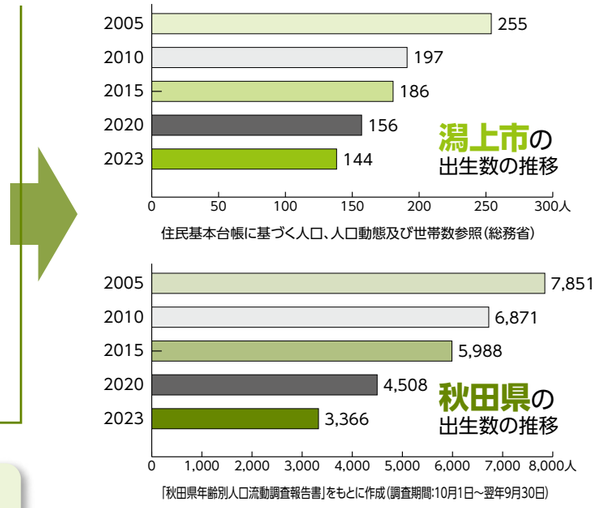
2－3　特集　こどもの笑顔とともに
4－7　3月定例会・賛否一覧
8－10　委員会の動き
11－14　一般質問・討論
15　第1回臨時会
16　補欠選挙議員紹介・一部事務組合議会・編集後記

No.80
2025年3月定例会
【令和7年5月1日発行】

特集 こどもの笑顔とともに

移住してきた皆さんから
「子育て支援の手厚い街ですね」という声をよく耳にします。
これからの支援策を皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

潟上市の年間出生数は144人（2023年）
合計特殊出生率は**1.25人**。
秋田県の出生数は3,366人（2023年）です。



国・県からの応援金として

国からの応援金は

妊婦のための支援給付金

妊娠届出時 5万円　出生届出時 5万円

県からの応援金は

あきた出産・子育て応援金

こども1人　2万円

障がいのあるこどもには

- 特別児童扶養手当　●障害児福祉手当
- 障がいのあるこどもを対象とした通所サービス

潟上市独自のライフステージにあわせた子育て支援があります。

かたがみ未来子育て応援金

- 出　生　時……1万円
- 小学校入学時……2万円
- 中学校入学時……3万円

また、在宅子育て応援金（条件あり）として
育児休業給付金の受給世帯　：月5千円
育児休業給付金を受給していない世帯：月1万円
などの応援金があります。

潟上市は子育て支援のまち

妊娠

- 不妊治療費全額補助（平成22年以降147人が出生）
- 妊婦健診（通常は無料）妊婦歯科健診～無料
- 各種教室　●プレパパ・ママ　●妊産婦　●離乳食　●ひまわり教室　など

出産

- こんにちは赤ちゃん訪問　●産後ケア
- 産前・産後家事ヘルパー　●多胎妊産婦等支援

子育て

- 児童手当、児童扶養手当　●乳幼児健康診査（負担なし）
- 各種予防接種（負担なし）
- おたふくかぜ2回のうち1回4,000円補助
- インフルエンザ1回1,000円を18歳まで
  12歳までは2回分（2,000円）補助
- 一時預かり等　●就学援助　●フッ化物塗布事業（虫歯防止）
- 子宮頸がんワクチン接種（希望の方）
  自己負担なし、小学校6年生から高校1年生までの女性
- 3歳以上の給食費は無料　●子ども医療費は18歳まで無料
- 住宅リフォーム制度（子育て世帯応援　県・市）

相談

令和7年4月より

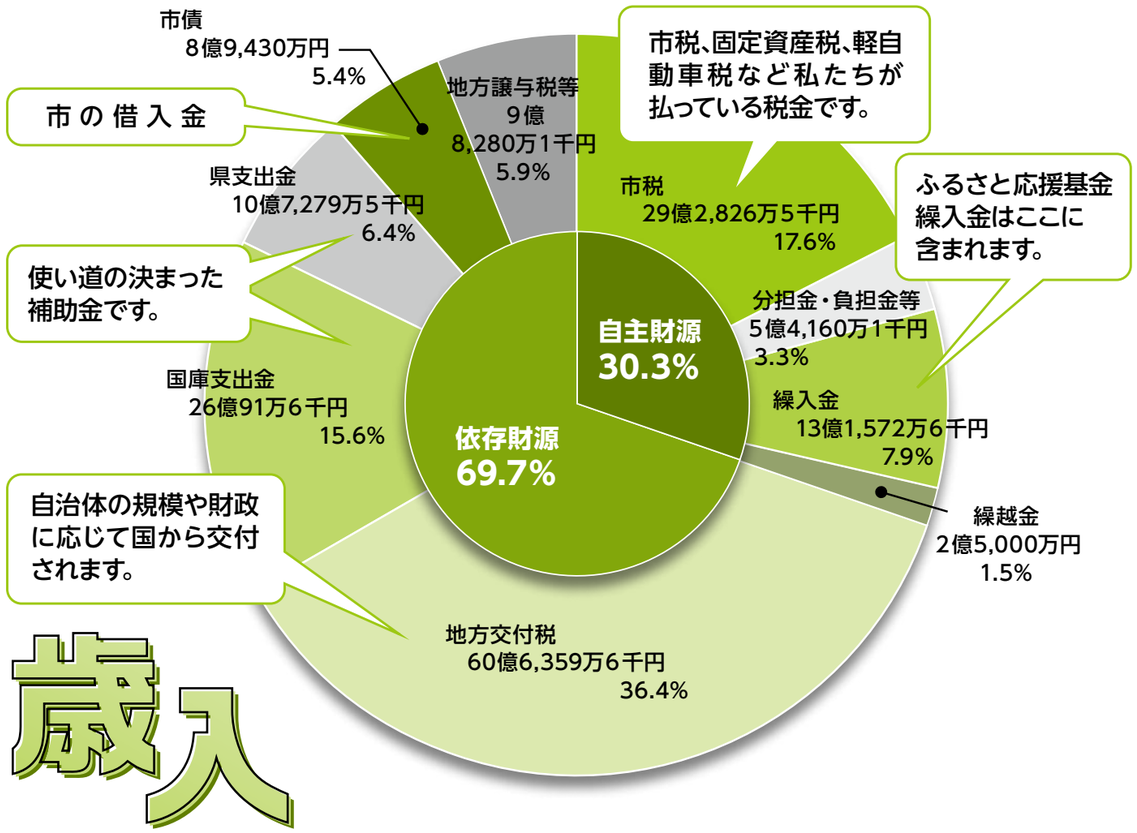
かたるん（KATARUN）
潟上市こども家庭センター

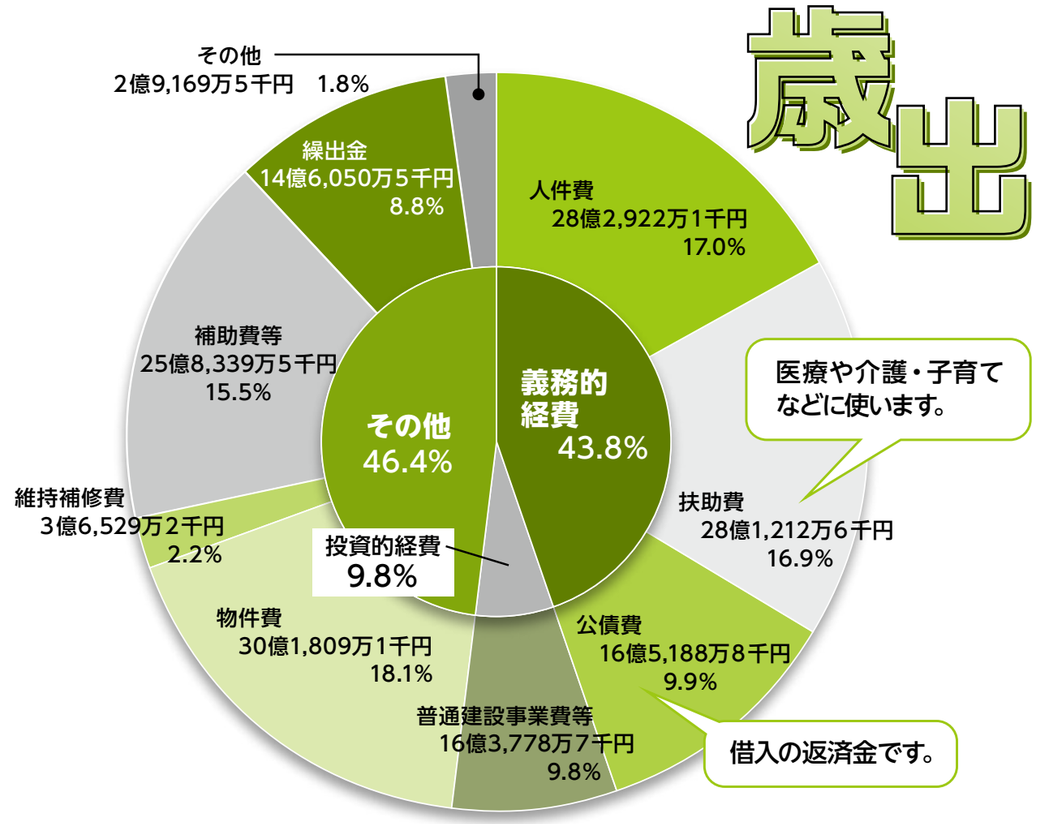
◎妊娠・出産・育児・ひとり親家庭・児童相談などこどもに関することなどお気軽に相談できます。

子育てをめぐる今後の課題は尽きません。
私たち議会としても「子育て支援」をさらに
充実させるため政策を提案していきます。

2025年 3月定例会 2月20日～3月13日

令和7年度 一般会計 166億5,000万円
（当初予算総額）
各特別会計・企業会計 108億5,704万4千円を可決





[歳　出]　（目的別）　（単位：千円、%）

款	本年度	構成比	増減率
1 議会費	168,154	1.0	0.4
2 総務費	2,111,321	12.7	18.1
3 民生費	6,322,443	38.0	3.9
4 衛生費	1,069,399	6.4	2.7
5 労働費	2,782	0.0	16.9
6 農林水産業費	311,337	1.9	▲6.5
7 商工費	438,508	2.6	▲12.2
8 土木費	1,774,679	10.7	12.1
9 消防費	1,098,301	6.6	12.2
10 教育費	1,683,188	10.1	28.1
11 災害復旧費	3,000	0.0	0.0
12 公債費	1,651,888	9.9	▲3.3
13 予備費	15,000	0.1	0.0
歳出合計	16,650,000	100.0	7.3

[各特別会計・企業会計予算]　（単位：千円、%）

会計名	令和7年度	増減率
社会保障関係	8,051,896	4.2
国民健康保険事業特別会計	3,632,349	14.8
後期高齢者医療特別会計	446,531	3.2
介護保険事業特別会計	3,973,016	▲3.8
財産区	1,147	▲16.2
豊川財産区特別会計	233	▲12.7
和田妹川財産区特別会計	351	▲8.1
飯塚財産区特別会計	563	▲21.8
企業会計	2,804,001	▲4.0
水道事業会計	1,133,656	▲10.1
下水道事業会計	1,670,345	0.7
合計	10,857,044	2.0

令和7年度重点施策

「稼げる力」の創造　5億1,315万円
①農業生産力の向上及び担い手支援　②森林資源の保全と活用　③漁業の振興　④商工業の振興
⑤起業・企業立地の推進　⑥誘客事業の実施及び支援　⑦特産品等の販売促進

「支える力」の創造　95億1,122万9千円
①生活保護制度の適正な実施とセーフティーネットの確保　②高齢者福祉の充実　③健康づくりの推進
④感染症予防の推進　⑤子育て支援の充実　⑥子どもを産み育てやすい環境づくり
⑦就学前教育・保育の推進　⑧教育環境の整備・充実　⑨体育施設の適正な管理運営
⑩スポーツ活動の推進　⑪窓口における市民サービスの向上
⑫定住・移住の推進　⑬空き家対策の推進　⑭地域コミュニティ活動の支援

「考える力」の創造　3億1,408万6千円
①市民の参画の推進　②行政サービスのデジタル化の推進　③公共施設マネジメントの推進
④職員の育成と研修の充実

公共事業　22億2,163万5千円
①幹線道路・生活道路の整備　②都市公園の整備等　③農業用施設の整備等
④上下水道事業の安定供給　⑤地域防災力の向上　⑥教育施設の整備等

3月定例会に提出された議案等

条例案　原案可決

- 潟上市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例等の一部を改正する条例
- 潟上市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例及び潟上市水道水源保護条例の一部を改正する条例
- 潟上市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び潟上市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
- 潟上市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- 潟上市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
- 潟上市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例
- 潟上市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例
- 潟上市市税条例及び潟上市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例
- 潟上市手数料条例の一部を改正する条例
- 潟上市体育施設条例の一部を改正する条例
- 潟上市敬老祝い金条例の一部を改正する条例
- 潟上市下水道条例の一部を改正する条例
- 潟上市水道事業給水条例の一部を改正する条例
- 潟上市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 潟上市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 潟上市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 潟上市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 潟上市子ども・子育て支援法に基づく過料に関する条例の一部を改正する条例

単行案　原案可決

- **市道路線の廃止及び変更**

予算案　原案可決

- 令和６年度一般会計補正予算（第８号）
- 令和６年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第４号）
- 令和６年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第４号）
- 令和６年度介護保険事業特別会計補正予算（第４号）
- 令和６年度豊川財産区特別会計補正予算（第１号）
- 令和６年度和田妹川財産区特別会計補正予算（第１号）
- 令和６年度飯塚財産区特別会計補正予算（第１号）
- 令和６年度下水道事業会計補正予算（第３号）
- 令和７年度一般会計予算
- 令和７年度国民健康保険事業特別会計予算
- 令和７年度後期高齢者医療特別会計予算
- 令和７年度介護保険事業特別会計予算
- 令和７年度豊川財産区特別会計予算
- 令和７年度和田妹川財産区特別会計予算
- 令和７年度飯塚財産区特別会計予算
- 令和７年度水道事業会計予算
- 令和７年度下水道事業会計予算

人事案　同意

- **湖東地区行政一部事務組合議会議員の推薦**
  古戸　信雄　氏　（飯田川金山字家ノ前）

諮問案　同意

- **人権擁護委員候補者の推薦**
  菊地　蝶子　氏　（飯田川和田妹川字出張）

陳情　採択

- 「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書
- 加齢による難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める陳情

陳情　継続審査

- 「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」採択に関する陳情書

陳情　全議員に配布のみ

- 地方自治を無視する国に沖縄との対話を求める意見書の提出に関する陳情
- デジタル・ベーシックインカム導入に関する意見書の提出についての陳情書

発議　原案可決

- **潟上市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例**

令和6年度

各会計補正予算

一般会計補正予算
補正額（第８号）　3億5,263万8千円
補正後の額　186億2,796万円

●歳出の主なもの

- 総文　ふるさと応援寄附金など各基金積み立て　3億6,487万5千円
- 産建　新基本計画実装・農業構造転換支援事業　7,938万8千円
- 社厚　介護給付費・訓練等給付事業　1,322万4千円
- 社厚　福祉医療給付事業　807万1千円
- 社厚　子どものための教育・保育給付事業　1,792万8千円
- 産建　ため池等整備事業　37万5千円

●特別会計補正予算　（単位：千円）

項目	補正額	補正後の予算額
国民健康保険事業（第４号）	548千円	3,605,656千円
後期高齢者医療（第４号）	△976千円	431,413千円
介護保険事業（第４号）	124,590千円	4,375,964千円
豊川財産区（第１号）	1,286千円	1,553千円
和田妹川財産区（第１号）	175千円	557千円
飯塚財産区（第１号）	331千円	1,051千円
下水道事業（第１号）	5,920千円	645,781千円

令和7年3月定例会

各議員の賛否一覧（全会一致を除く）
（〔○〕:賛成、〔×〕:反対、〔除〕:除斥、〔欠〕:欠席、〔議〕:議長）

会派名・氏名 ／ 議案等	同志会							令和の会				改革クラブ			会派に属さない			結果
	会長	副会長	幹事長					幹事長	副会長			代表			日本共産党	公明党		
	西村　武	鐙　仁志	鈴木　壮二	小林　悟	佐藤　敏雄	藤原　仁美	鈴木　司	堀井　克見	菅原　秀雄	澤井昭二郎	石井　和人	中川　光博	戸田　俊樹	菅原龍太郎	藤原　典男	菅原理恵子	伊勢　潤	
議案第12号	○	○	○	議	○	○	○	×	×	×	×	○	×	○	○	○	○	原案可決
陳情第１号	○	○	○	議	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続審査

議案第12号：潟上市敬老祝い金条例の一部を改正する条例（案）について
陳情第１号：「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」採択に関する陳情書

委員会の動き

各委員会の審査状況を紹介いたします。

総務文教

総務文教常任委員会

	氏　名
委員長	鈴木　　司
副委員長	西村　　武
委員	戸田俊樹
委員	堀井克見
委員	小林　　悟

条例

体育施設条例の一部を改正する条例

Q 天王東湖体育館の設置に関し、閉校後4月からの使用で、施設に不具合はないか。また、地震津波の避難場所として補修等の必要性はないか。

A 津波避難場所が校舎の屋上となっているため、令和６年度に上層部の階段、手すりを補修しています。それ以外については、現在のところ補修の必要性はないと考えています。

Q 当体育館を将来的にどのように使っていくのか。

A 東湖小学校全体の利活用が決まるまでの間、現状のまま使用してもらうことを想定しています。

陳情

「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」採択に関する陳情書について

国会審議を踏まえて慎重に判断すべき等の意見があり、全会一致で継続審査とすべきものと決しました。

令和６年度　一般会計補正予算（第８号）

Q 地方交付税が5,693万円の増額となった理由は。

A 物件費の増や経済対策等による追加交付によるものです。

Q 公共施設等適正管理基金の目標額は設定されているか。

A 目標金額の設定は特にしていないが、今後、公共施設の解体や改修等、単年度で多額の金額が必要になるとき、財政の安定化を図るための事業に充当したいと考えています。

令和７年度　一般会計予算

Q 令和7年度は骨格予算ということであったが7.3%の増となった理由は。

A 人件費や物件費の高騰によります。

ふるさと会補助金　**10万円**

Q 在京ふるさと会の活動状況は。

A 天王会については活動休止状態であり、飯田川会についても7年度からは活動が厳しいとのことで、昭和会のみ活動を継続しています。

防災行政無線改修事業　**5,960万9千円**

Q 防災行政無線設備改修工事の設置場所等は。

A 市役所庁舎3F の防災無線室に設置し、Ｊアラートに対応するものです。津波警報が発令された場合や震度4以上の地震が発生した場合などにも自動的に防災無線に接続されるような仕組みになっています。

子どもの権利擁護委員費（報償費）　**33万円**

Q 子どもの権利擁護とはどのような内容か。

A 近年の学校現場では法的な対応が求められる事案が多くなっています。本市においても詳細調査や迅速な対応と法的な立場からも対応できるようにします。

学校支援事業　**18万円**

Q 本事業の内容と効果は。

A 学校支援チームを編成し、授業改善等のアドバイスを行うものです。この事業により学力向上が見込まれるものと考えています。

委員会の動き

各委員会の審査状況を紹介いたします。

社会厚生

社会厚生常任委員会

	氏　名
委員長	菅原理恵子
副委員長	鐙　　仁志
委員	鈴木壮二
委員	澤井昭二郎
委員	中川光博
委員	菅原秀雄

条例

敬老祝い金条例の一部を改正する条例

Q 88歳、99歳、101歳以上の廃止理由は。

A 祝い金の対象年齢が連続していることや、一律に現金を支給することは時代に合わなくなってきたこと、就労人口の減少に対して老齢人口が増加しているため財政面でも厳しい状況になっていくことなどにより、令和５年10月開催の行政改革推進委員会において、事業を縮小するべきとの最終評価を受け今年度事業の見直しを行ったものです。

Q 代替事業の検討は。

A 高齢者の雪寄せや買物支援等の困りごとへの支援も検討しています。また、金銭面の支援だけではなく、年を重ねても尊厳を守っていくための取組も大切です。

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

Q 児童クラブを柔軟に運営できるようにするための改正か。

A 本条例は事業の設備や運営の最低基準を定めるもので、開所時間の基準を改めることにより、事業者が柔軟に運営できるようにするためのものです。

令和７年度　一般会計予算

デマンド型乗合タクシー　**108万7千円**

Q 交通空白地域へのデマンド型乗合タクシーの運行予定は。

A 現在、株山･真形草生土･荒長根地区にデマンド型乗合タクシーを運行していますが、令和７年度は新たに、山田地区を加え運行を予定しています。

プラザの湯運営委託料　**2,033万7千円**

Q 今後の方針は。

A 募集条件を見直して再募集をします。

服薬情報通知事業　**208万5千円**

Q 服薬情報通知事業の詳細は。

A レセプトデータから薬の処方が多い方を抽出し、対象者に対して薬剤情報を通知します。そして、対象者自身がかかりつけ医や薬剤師に薬剤情報通知を提示して服薬情報の共有と調整･相談を行い、薬の飲み合わせ改善や健康被害の抑制につなげるものです。

親子関係形成支援事業　**11万円**

Q 事業の内容は。

A 令和8年度の実施に向けて事業のプログラムを検討していくため、令和7年度に研修会に職員が参加するための費用です。

1か月児健康診査　**94万5千円**

Q 生後1か月児健診の内容は。

A 内科健診や子どもの発育や発達の診察などです。

Q 個人負担は。

A 個人負担はありません。

委員会の動き

各委員会の審査状況を紹介いたします。

産業建設

産業建設常任委員会

	氏　名
委員長	藤原　仁美
副委員長	藤原　典男
委員	石井　和人
委員	菅原　龍太郎
委員	伊勢　潤
委員	佐藤　敏雄

条例

非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

Q **鳥獣被害対策実施隊員の報酬を日額3,000円とした理由は。**

A 熊の出没実態と周辺市町村を参考に、猟友会と相談して決めています。

単行案

市道路線の廃止及び変更について

Q **廃止後の管理は。**

A 現在市道として認定しているものを廃止するので、今後は普通財産として管理します。

令和６年度　一般会計補正予算（第８号）

ため池等整備事業費負担金　37万5千円

Q **整備箇所は五城目町だが、本市の一部負担がある理由は。**

A 五城目町から井川町を経由して飯田川飯塚地区に流入している農業用水路があるため、受益面積の約12キロメートル分を負担しています。

新基本計画実装・農業構造転換支援事業費補助金　7,938万8千円

Q **事業費の用途については。**

A 採択要件によるが、法人化等により共同で再編・集約する施設に附帯した農業機械、設備等への補助です。

令和7年度　一般会計予算

果樹支援事業費補助金　128万8千円

Q **交付時期については。**

A 花粉増量剤の購入・支払後に申請し、早ければ6月ごろの交付予定です。

起業・創業支援事業　320万円

Q **チャレンジ枠を新たに追加した目的は。**

A 創業を考えている方が空き店舗等を一時的に間借りするなどして、トライしやすくなるように拡充しました。

立地適正化計画基礎調査業務委託料　459万8千円

Q **調査の目的は。**

A 人口減少、少子高齢化の進展により市街地の低密度化が懸念されるため、コンパクトシティの実現を目指すべきかの基礎調査をします。

公園長寿命化事業　3億1,058万4千円

Q **鞍掛沼公園多目的広場改修の内容は。**

A 人工芝改修工事が約8,200平方メートルで、夜間照明灯改修工事は72台のLED照明です。

令和7年度　水道事業会計予算

給水車配備事業　1,960万2千円

Q **購入する給水車は。**

A バン型の車両で現場確認の使用も想定しています。給水箇所に設置した仮設給水タンクに補充する方法で数か所の給水も可能となり、給水活動の強化につながることから加圧式給水車を購入します。

一　般　質　問

7名が質問しました

地域コミュニティについて

全文の動画はこちらから▶

鈴木　　司　議員

Q **地域コミュニティに対する認識と、今後の方向性等については。**

A 高齢化に伴う担い手不足等もある一方、追分地区のように若い方々が増え、人口規模的には適正でありながらも、なかなか町内会活動には参加できていない状況であります。過疎の進行している地域との二極化が、本市における課題の一つだと認識しています。

今後の自治会の支援のあり方も踏まえて、現在、庁内においても検討しています。

Q **団体等におけるこれからのありようについて。また、検討会（プロジェクト）等の立ち上げが必要ではないか。**

A 本市の持続可能な行政運営を考えたうえで、各種団体への支援のあり方などについても見直しが必要になってくるものと認識しています。また団体等への支援の見直しとなれば、十分な話し合いとご理解がなければ実施できないものだと思っています。

小・中学校の学校給食について

Q **県や国の動向等を参考に、いち早い給食費の無償化を実現しては。**

A 移住者の声を伺いますと、非常に子育てに手厚いまちであるといいます。給食費の無償化については、今後の国・県の状況を見ながら、より検討していかなければならない課題であると認識しています。目指す姿は、子育てのみならず、市民全体が安心して暮らせるまちづくりです。

「新しい認知症観」の普及について

全文の動画はこちらから▶

菅原　理恵子　議員

Q **「認知症施策推進計画」に基づく認知症予防に関するエビデンスの収集の推進は。**

A 認知症及び軽度認知障害の予防に関するエビデンスの収集を行い、本市の介護予防事業に取り入れるよう努めています。また「短期集中サロン化支援事業」では、秋田大学高齢者医療先端研究センターより、認知症予防プログラムとして有効であるとの報告結果を受けています。

Q **学校教育において認知症に関する知識、理解を深めることへの取組については。**

A 認知症サポーター養成講座を行っています。受講生からは、「認知症に対しての認識が広まった。優しく接していくこと、見かけたら声を掛けたい」といった肯定的な意見があります。

Q **何をもって、地域支援体制の強化につなげるか。**

A 社会的認識は高まっていますが、偏見や誤解により、認知症当事者が社会的孤立しやすい状況にあると認識しています。地域における認知症支援体制の強化には、多様な主体が「新しい認知症観」にたち、施策に取り組む必要性から地域包括ケアシステムの構築に努めます。

Q **チームオレンジの事業内容は。**

A 令和６年度にモデル事業として２地区をチームオレンジとして登録し、事業の普及啓発を行い支援に取り組みます。

父親の産後うつについて

Q **父親にも焦点を当てた産後うつ支援の実施は。**

A 安心・安全に出産・子育てができるよう、保健師・助産師・臨床心理士等が、母親のみならず父親（パートナー）も対象とした相談支援を行っています。

Q **産後うつに関する相談体制の整備、予防と治療の充実に関する取組については。**

A 妊娠届出時に父親に対して、父子健康手帳を配布しています。さらに、窓口や電話、オンライン相談のほか、家庭訪問等、状況に応じて医療機関を紹介し早期支援につなげています。

一　般　質　問

7名が質問しました

ＱＲコードから一般質問全文の動画がご覧になれます。

文化財の保存と活用について

全文の動画はこちらから▶

石井　和人　議員

Q　文化財の保存と活用についての考えは。

A　本市には、国指定４件、市指定60件、有形･無形を含め指定文化財が計66件あり、保存、保護するための取組として、建造物等については消防設備の点検、防火訓練を実施しています。指定天然記念物の樹木等については、樹勢回復のための処置やせん定作業を実施しています。無形文化財については、地域の伝統や技術等を保存、継承していくことは重要であることから、活動団体への支援として補助金を交付しています。

また、郷土の歴史を学ぶことを目的に、潟船保存会と市が共催し、年２回、文化財や歴史的建造物を訪れる「潟上市の文化財巡りバスツアー」を実施し、本年度は、小玉家住宅、豊川油田、八郎潟漁撈用具収蔵庫等を見学しました。

Q　文化財を保護するために、適切な管理人が必要ではないか。

A　市には、博物館法に定める施設はないため、学芸員の配置は必須ではありません。現在、文化財担当職員は、県等が開催する研修等を受講することで業務に必要な知識を身につけており、今後も様々な機会を通じて有益な知識を習得できるように努めます。

Q　八郎潟の歴史を伝える遺産の保存状況を改善できないか。

A　くり舟やうたせ船、漁撈用具等は、八郎潟漁撈用具収蔵庫や天王グリーンランド、旧昭和中央保育園などで保管していますが、数や大きさ等により移動が難しく、収納場所の面積を要することから１か所での保管ができないのが現状です。東湖小学校の活用については、今後、地域からの要望等を踏まえて検討します。今後も、先人から受け継がれてきた文化財を後世に伝えるため、適切な保護方策及びより効果的な活用と発信の方法について調査･研究します。

森林環境譲与税について

全文の動画はこちらから▶

菅原　龍太郎　議員

Q　令和６年度の森林環境譲与税の活用は。

A　これまで林道の災害復旧・森林所有者への経営管理制度移行調査に活用し、６年度は森林組合が実施する再造林事業支援と国土調査未実施で境界不明な山林における航空レーザ測量に向けた基金積立をしています。

Q　里山の整備については。

A　間伐・植栽等の再造林事業を行なうことで将来的な里山の整備にもつながります。

Q　元木山公園の旧天洋の山は杉花粉の一因となっており、一部伐採して杉林内を明るくし、散策道を増やしては。

A　現在は公園の維持・改修に主眼を置いているため散策道の増設計画はありません。

Q　松枯れ対策への森林環境譲与税の活用は。

A　本市にある保安林の松枯れ対策は県の管理で、公益的機能の高い松林には、薬剤散布、樹幹注入及び伐倒駆除を実施し、本市の管理地区保全森林では、被害木の伐倒駆除を実施しています。

令和5年度決算における経常収支比率100.3%について

Q　経常収支比率が100％を超えた理由及び財政運営安定のための健全化対策は。

A　算定の分母の経常的一般財源が約１億4,300万円(1.4％)減少し、分子の一般財源を充当した経常的歳出が約3億4,500万円(3.6％)増加したためです。経常的歳出では公債費は減ですが、給与改定等による人件費の増、扶助費の増によるものです。行政運営にあたっては歳入確保を図るとともに、本市の規模に合わせ、各施設の減や物件費、人件費の抑制に努めます。

Q　潟上市は人口が減少していますが、職員数の今後の見込みについては。

A　人口減少下においても各種施策の実現や持続的な行政サービスの提供は必要です。正職員は当面、現状を維持しますが、長期的な視点では減少せざるを得ない状況です。

市長の政治姿勢について

全文の動画はこちらから▶

藤原　典男　議員

Q　市長２期目にあたり３つの力実現のために、県や国に対し何を要望し、市民生活に反映させたいか。

A　市長就任以来、市民の皆様の「幸せ」を実感し誇りや生きがいを持って暮らせる「進化する潟上」の創造を目指し「稼げる力」「支える力」「考える力」を重点施策の柱としてきました。全方向に視野を広げ市政課題と向き合いつつ人口減少対策や子育て支援、災害対策の強化による安全・安心の確保等の各種要望活動を、国や県に対して行います。またインフラ整備事業に関することや、一部過疎地域の制度的な見直しについても国に強く要望していきます。

訪問介護施設への援助について

Q　現在訪問介護施設は全国的に廃止、休止が相次いでおります。介護報酬の引き下げが原因と言われております。

施設への援助が必要ではないか。実態と今後の対応は。

A　令和６年度介護報酬改定では報酬全体では1.59％引き上げとなりましたが、訪問介護は介護事業経営実態調査での収支差率がプラス7.8％で平均より高かったため報酬改定では約２％引き下げとなりました。報酬減額の対応として介護給付準備基金を取り崩して事業所に助成している自治体もありますが、基金はこれからの超高齢化社会に備え残高を維持する必要があります。市内での事業所は現在４事業所で本市市民の利用者は110人です。それほど影響がない所、月にある程度赤字は出ている所もあります。団塊の世代が今年75歳以上になり介護認定率、受療率、痴呆症の有病率も急増することが見込まれるため、今後の動向を注視していきます。

Ｚ世代活躍課について

全文の動画はこちらから▶

藤原　仁美　議員

Q　設立から7か月、Ｚ世代活躍課の現状と課題、今後の方向性については。

A　潟上市に関わりのある高校生･大学生等、年齢も学校も異なる20名の応募があり、８回の全体ミーティング実施と、本市国際交流協会や包括連携締結企業との事業別協議の実施、イベント等への個別参加を踏まえ、参加者が目指す地域課題の解決に向けた取組の実現のため、内容のブラッシュアップを行っています。課題として、本業である学業等との兼ね合いでミーティング機会確保の難しさや、自発的な発言を期待し合意形成に向けたサポートの加減などがあります。市の人材育成につながる側面も視野に入れ、長期的な視点を持ちながらプロジェクトを進めます。

Q　多方面との連携については。

A　市から課員に直接的に連携を促すことは考えていませんが、課員自らが各団体等との連携が必要と判断した場合、市として最大限のサポートを行います。

東湖小学校閉校後の校舎利用について

Q　昨年の答弁で民間活力の活用も念頭に置き検討するとあったが、校舎利用についての検討状況は。

A　現段階では小学校全体の利活用については未定ですが、体育館部分は「天王東湖体育館」として使用できるよう条例改正案を提出しています。閉校後、校舎の利活用の在り方、津波避難所としての機能の在り方も含め検討していかなければいけないと考えています。

Q　市民のニーズに応えた居場所等、試験的利用の検討は。

A　提案を踏まえながら、民間活力の活用なども含め多方面から検討を重ねます。

一　般　質　問

7名が質問しました

潟上市の将来プランについて

全文の動画はこちらから▶

西村　　武　議員

Q **人口減少の抑制と地域を守るシステムの構築と方策は。**

A 過疎化や地域産業の衰退などが全国的に大きな課題となる中、本市においても人口減少が見込まれており、将来にわたって地域を守り持続可能なまちづくりを目指します。

Q **若い方々が定着する雇用の創出を図るための方策は。**

A 市長就任以来、質の高い産業の振興など、若手農業者等の経営の安定や中小企業販路拡大、経営効率化を支援する補助事業の創設、企業誘致活動の積極的な推進に取り組んできました。これからの取組は農業者の生産力向上や工業団地の新規造成も念頭に置きながら引き続き質の高い企業誘致で雇用の創出に取り組みます。

Q **人口減少をカバーすべく、交流人口の拡大を図るための方策は。**

A 夏のかたがみ三大まつり開催や観光協会など各種イベントの主催団体への支援等、ふるさと応援大使によるＳＮＳを通じたＰＲ等を活用し、交流人口の拡大と経済の発展につながるよう努めます。

Q **人生100年時代、健康で安全安心な生活の実現のための方策は。**

A 健康寿命の延伸を図り、心身健康で暮らせるよう各種健診や健康教室、相談事業の推進、ワクチン接種費用の助成、高齢者などへの緊急通報装置事業等実施しています。

Q **未来を支える人づくり、道徳教育を含めた教育方針は。**

A 豊かな自然や文化に触れ、地域の人々から学ぶ体験活動や地域に積極的に参画する意識を高めていきます。道徳教育では石川理紀之助翁の生き方から、くじけず達成する姿勢を育成しています。

追分地区新住民の墓地用地確保について

Q **市の追分地区墓地用地確保の方策は。**

A 新たな用地の確保は、少子化の進展が著しく墓地に対する意識も変化し、墓地全体の需給バランスを考慮し、調査研究します。

議案等に対する討論

議　案：第12号、潟上市敬老祝い金条例の一部を改正する条例
結　果：原案可決

賛成討論　藤原典男

賛成討論をします。厚生労働省の令和５年度の簡易生命表によると、88歳まで生きれる確率は31.7%、99歳までは２%となっております。残念ながら現在88歳の敬老祝い金をいただけない方は約70%、７割の方がいただけないことになるようです。私は高齢者が年齢に関係なく多くの方が平等に、何らかの形で市からお祝いしてもらえる制度の方が良いと思います。その点では今回予算計上されています高齢者のためのインフルエンザ予防接種補助について、80歳以上の方に2,000円の補助をするというものですが、健康上も平等性の観点から素晴らしい政策と思い、これを実行するためにも提案されている条例に賛成するものです。

賛成討論　伊勢　潤

近年、人口減少や少子高齢化などの社会構造の変化を踏まえ、敬老祝い金事業を廃止する自治体が増えています。本市でも敬老祝い金の対象者となる高齢者の増加は明らかであり、今後さらに財政硬直化、財源が不足することが懸念されます。しかし、対象者やご家族のお話を伺うと，市からお祝いをいただいたと特別な思いで受け取られている方もおり、また、離れた家族が集うきっかけになっているところもある中でやりきれない思いもあります。

今だけではなく,今後の高齢者福祉の充実を図るために、2040年問題に向けた医療、介護人材確保も含め、本市の高齢者が市民から敬愛され、そして高齢者に思いやりのある事業につながることを期待、お願いします。

賛成討論　鈴木　司

社会経済状況が予断を許さない状況にある中、自治体における施策展開もまた、果断な対応が求められる場面が往々にしてあるものと推察されます。

国立人口問題研究所における人口推計では、88歳人口は7年度263人、10年後には329人と想定されています。

高齢者が健康でいきいきと暮らす社会づくりは、地方自治体にとって必然的に大命題として浮上してくるものと思います。

だからこそ、自治体においては超重点主義を貫き、施策展開する中で、限りある財源の有効活用に努めることが求められます。持続可能な自治体として、どうあるべきか、こうした問いかけに応えていける自治体にこそ、未来への展望が開けてくるものと思うのです。よって、上程案に賛成の立場から討論させていただきました。

令和7年 第1回 臨時会

専　決　処　分

損害賠償の額を定めること
- 公用車の物損事故による損害賠償　77,292円
- 公用車の物損事故による損害賠償　83,099円

令和6年度一般会計補正予算(第6号)を定めること
- 除排雪事業　1億5千万円

令和6年度　一般会計補正予算（第7号）

●物価高騰の影響を受ける市民や事業者への支援

かたがみ給油クーポン配布事業　1億1,567万9千円
対　象：市内11,100世帯(住民税非課税世帯を除く)
内　容：１世帯1,000円×10枚つづり
　　ガソリン・灯油・軽油購入クーポン券配布

福祉灯油購入費助成事業　3,529万2千円
対　象：住民税非課税世帯3,400世帯
内　容：１世帯　10,000円

物価高騰重点支援給付金給付事業　1億2,469万3千円
対　象①：住民税非課税世帯　3,900世帯
対　象②：こども加算（①のうち、18歳以下の児童がいる世帯　310人）
内　容①：1世帯　30,000円
内　容②：児童１人当たり　20,000円

障害者支援施設等物価高騰対策事業　344万5千円
対　象：市内障害者支援施設等
内　容：光熱水費・食材料費の補助

保育所等物価高騰対策事業　117万円
対　象：市内民間保育所等　２施設
　　市内民間放課後児童クラブ　２施設
内　容：光熱水費・食材料費の補助

介護保険施設等物価高騰対策事業　2,952万1千円
対　象：市内介護保険施設等
内　容：光熱水費・食材料費を補助

物流事業者エネルギー価格高騰緊急支援事業　151万8千円
対　象：一般貨物自動車運送業者、特定貨物自動車運送業者、貨物軽運送事業者
内　容：普通車　１台あたり　7,000円　　軽自動車　１台あたり　2,000円

●公 共 事 業

市道整備事業　1億1,786万4千円
二田追分線　武利子澤白洲野樹園地1号線ほか2路線　竜毛橋
道路網の強化、橋りょうの長寿命化のため、市道の改良、橋りょう補修

●そ　の　他

地域集会施設等看板更新事業　547万7千円
地域集会施設63か所　市民センター3か所　体育館1か所　ほか
施設の名称変更に伴う看板更新

保育所等整備費補助事業　20万4千円
市内民間保育所等3施設　防犯対策のパーティションなどの設置経費を補助

ふるさと納税事業　4,055万3千円
返礼品の充実や市の知名度向上、寄附の増加を図る

新人議員の紹介

４月６日投開票により、
市議会議員補欠選挙に
当選され仲間入りしました。

佐　藤　珠　樹　議員

一部事務組合議会

男鹿地区消防一部事務組合

３月24日定例会を開催し、令和６年度一般会計補正予算及び令和７年度一般会計予算を全会一致で可決しました。

◎令和６年度一般会計補正予算

繰越明許費
・大型化学車更新整備事業　１億3,182万３千円

◎令和７年度一般会計予算

歳入歳出予算総額は　26億2,472万3千円
前年度対比　10億5,769万３千円(67.5%)の増

歳出の主なものは

・消防救急デジタル無線及び高機能消防指令システム更新整備事業　12億6,863万３千円
・高所放水車更新　１億6、500万円
・高規格救急車更新　3,993万円

構成市村の負担金は

潟　上　市(５億5,055万２千円)
男　鹿　市(７億1,163万９千円)
大　潟　村(１億3,840万８千円)

男鹿地区衛生処理一部事務組合

3月25日定例会を開催し、次の議案を全会一致で可決しました。

◎令和７年度一般会計予算

歳入歳出予算総額は　2億5,853万2千円
前年度対比　2,696万5千円(11.6%)の増

歳出の主なものは

・主要機器点検整備業務委託料　4,482万5千円
・運転管理業務委託料　1,900万1千円
・修繕費　3,388万8千円

構成市の負担金は

潟　上　市(9,513万9千円)
男　鹿　市(1億6,019万4千円)

湖東地区行政一部事務組合

3月26日定例会を開催し、次の議案を全会一致で可決しました。

◎令和7年度一般会計予算

歳入歳出予算総額は　7億 5,477万 1千円
前年度対比9,729万 7千円(11.42%)の減

歳出の主なものは

・消 防 費　5億 8,514万 4千円
・公 債 費　8,525万 9千円

構成市町の負担金は

潟　上　市(３億7,437万円)
八郎潟町(１億9,227万1千円)
井　川　町(１億7,697万3千円)

市議会の傍聴について

潟上市議会では、定例会・臨時会を傍聴することができます。日程等の詳細については、ホームページをご覧ください。

なお、議会の様子はインターネット中継(ライブ配信)や録画でご覧になれますのでご利用ください。

QRコードからも録画で議会をご覧になれます。

編集後記

旅立ちの春が過ぎ、木々の緑が瑞々しく風薫るこの時期、巣立った子どもたちの「元気で頑張っているよ」の知らせを聞くと、感傷と不安が入り混じった思いも浮き立つような心持ちになります。

令和７年度当初予算審議では、財政難を感じる場面が度々あり、市政の舵取りが今後ますます難しくなる状況を再認識しました。一方で本市追分地区の社会増は、本市全体の人口減少幅を縮小させるまでになっており、今こそ政治、行政に求められている新たな一手に期待がかかります。子どもたちが将来戻ってきたいと思える、進化する潟上のevolutionを今後もお届けします。

(広報編集委員　伊勢　潤)

〒010-0201 秋田県潟上市天王字棒沼台226-1
TEL 018(853)5330　編集／潟上市議会広報編集特別委員会